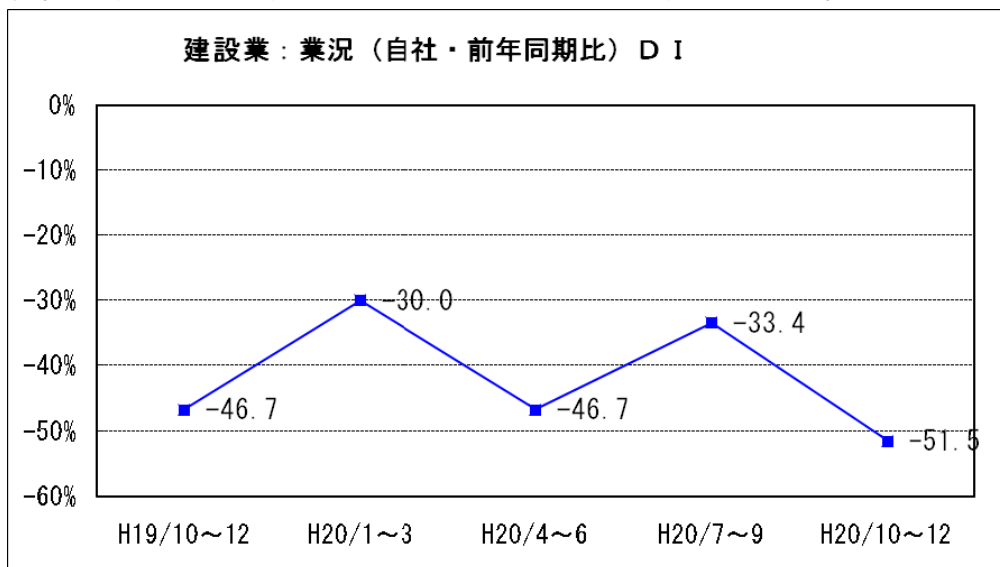


3. 建設業の動向

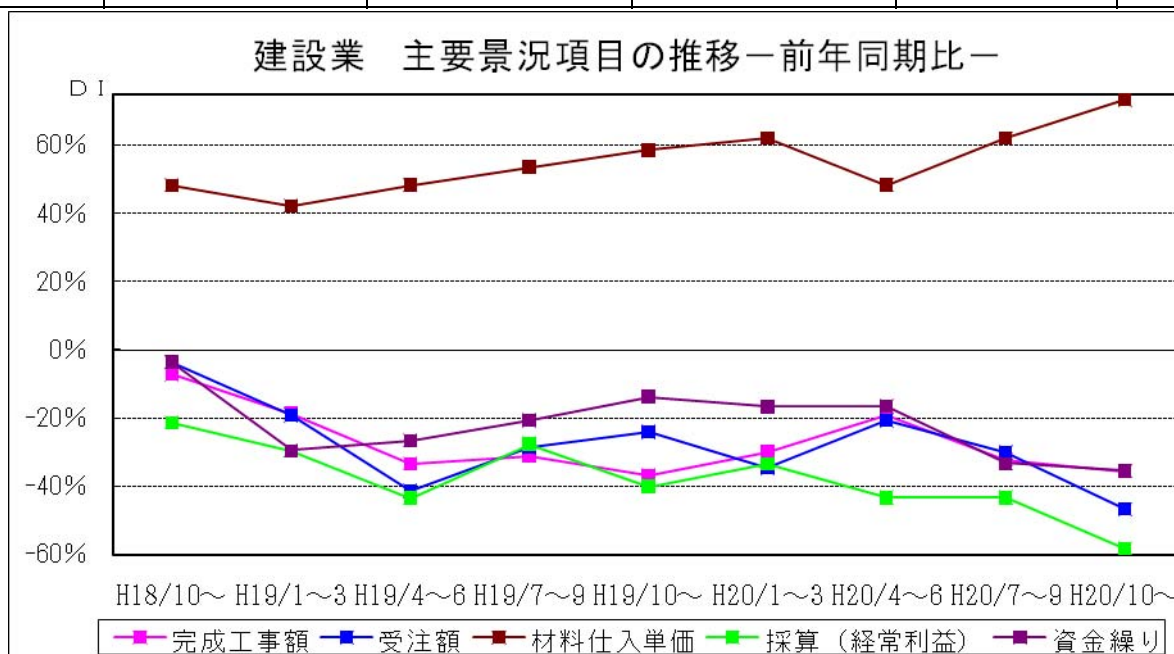
(1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は、マイナス51.5。前期のマイナス33.4から18.1ポイント下降、大幅な悪化。来期見通しは、マイナス48.4と小幅に回復の見込み。



建設業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

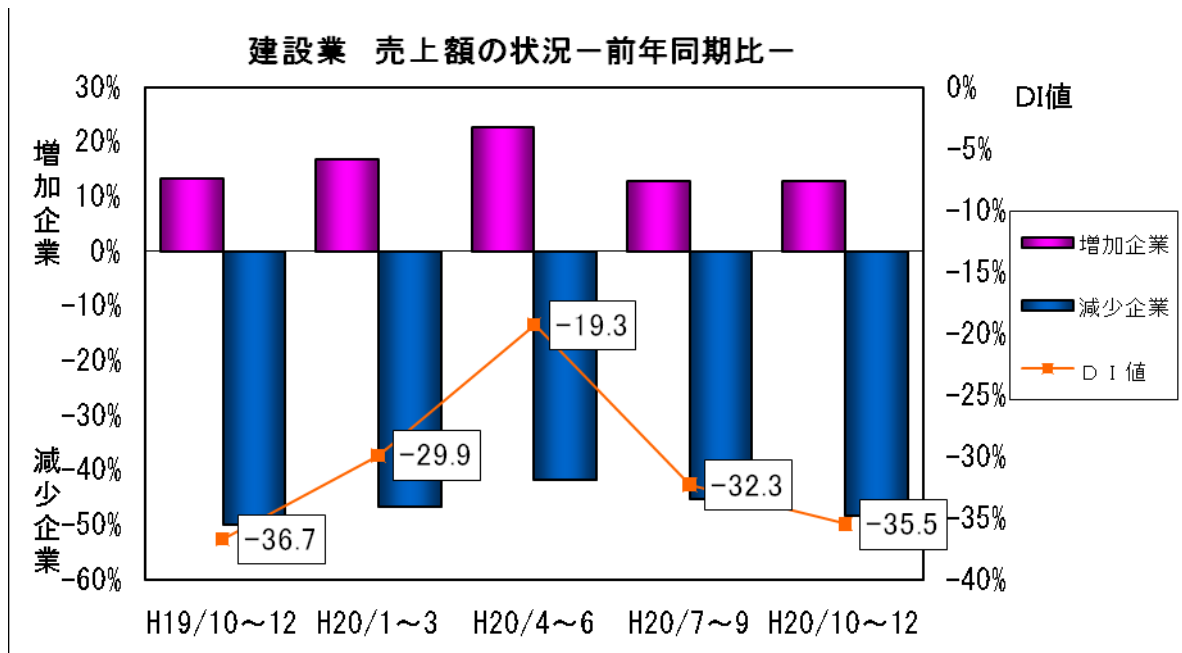
	前々期 (20年4月~6月)	前期(A) (20年7月~9月)	今期(B) (20年10月~12月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
完成工事額	▲19.3	▲32.3	▲35.5	▲3.2	▲48.3
受注額	▲20.7	▲30.3	▲46.7	▲16.4	▲60.1
材料仕入単価	48.4	62.1	73.3	11.2	60.1
採算(経常利益)	▲43.3	▲43.3	▲58.1	▲14.8	▲48.4
資金繰り	▲16.6	▲33.3	▲35.5	▲2.2	▲41.9



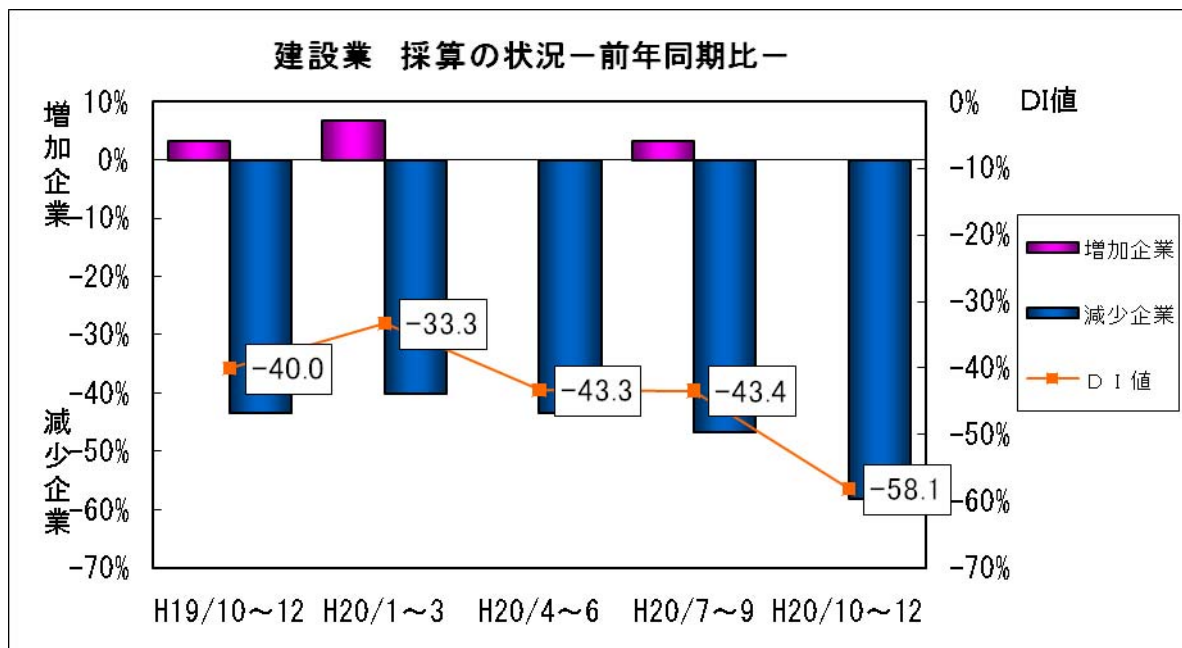
(2) 主要項目の概況 (前年同期比)

①完成工事額 (前年同期比)

今期の完成工事額D I 値は、マイナス 35.5。前期のマイナス 32.3 から 3.2 ポイント下降、小幅な悪化。来期はマイナス 48.3 と大幅に悪化する見込み。

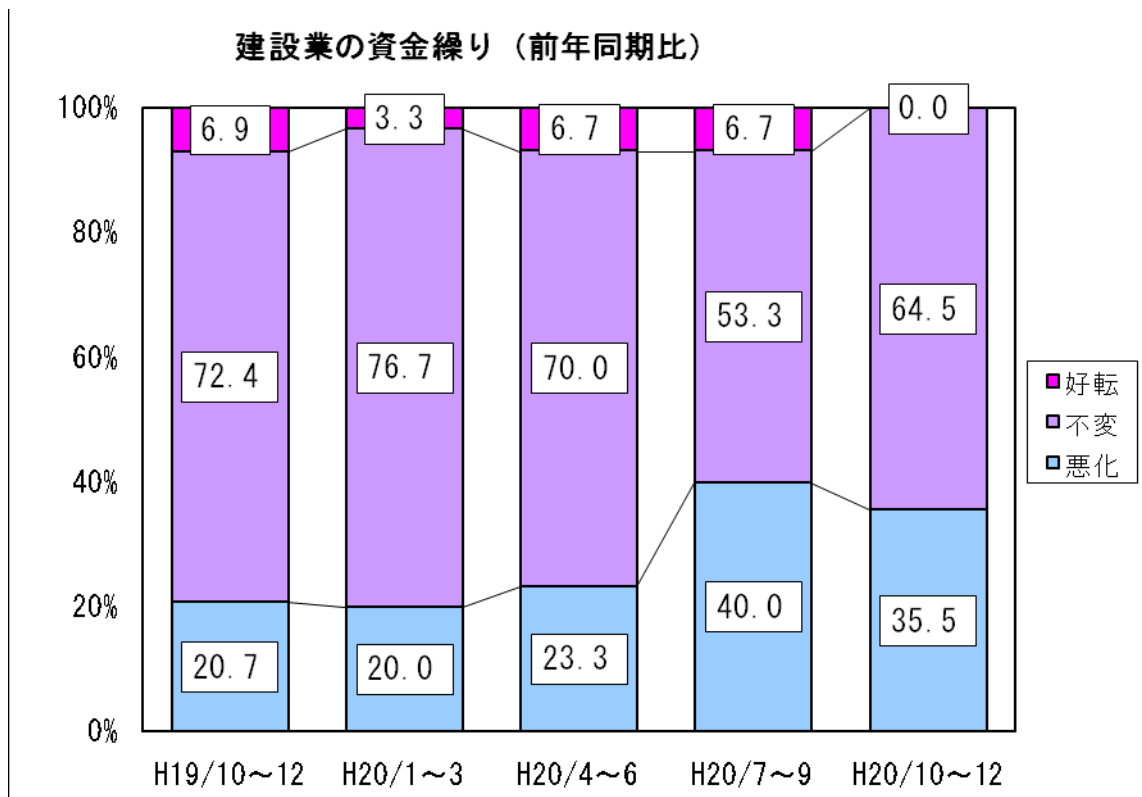


②採算 (前年同期比) 今期の採算D I 値は、マイナス 58.1。前期のマイナス 43.4 から 14.7 ポイント下降、大幅な悪化。来期見通しはマイナス 48.4 と回復する見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I値は、マイナス 35.5。前期のマイナス 33.3 から 2.2 ポイント下降、やや悪化。来期見通しはマイナス 41.9 とさらに悪化の見込み。

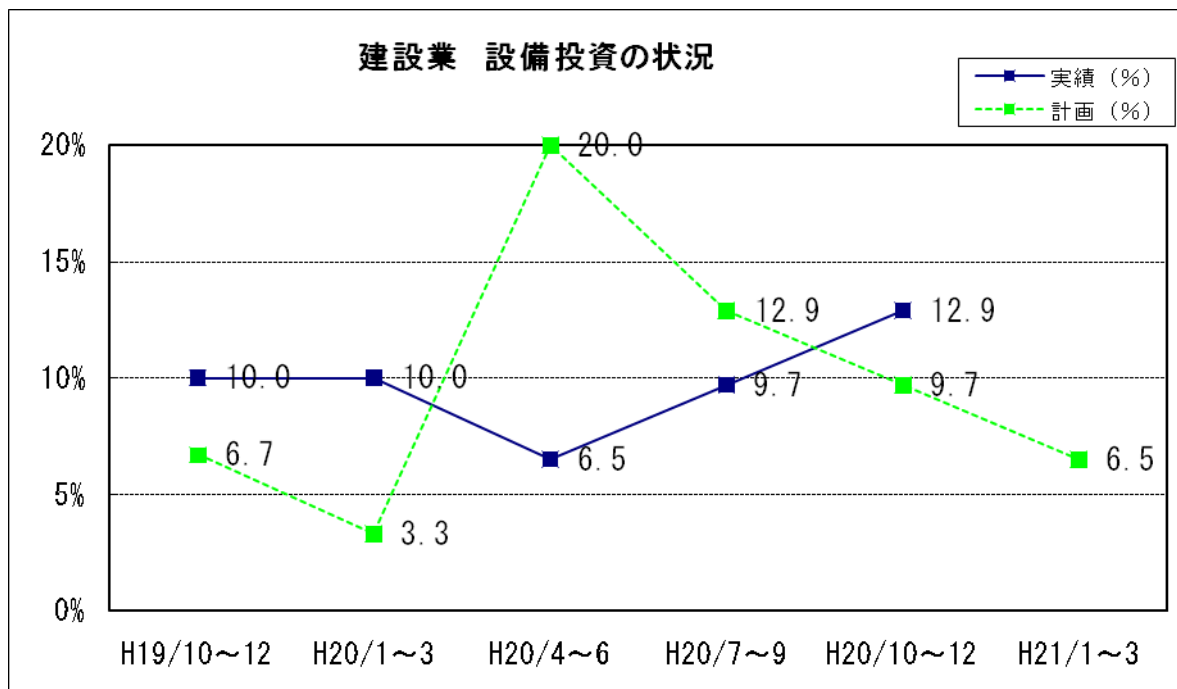


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土 地	建 物	建設 機械	車両・ 運搬具	付帯 施設	OA 機器	福 利 厚 生 施 設	その他	
前期実施 (実数)	3	1	1	1	1	1	0	0	2	28
(%)	9.7	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	0	0.0	66.7	90.3
今期実施 (実数)	4	0	1	0	1	0	3	0	0	27
(%)	12.9	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	87.1
来期計画 (実数)	2	0	0	0	0	0	1	0	1	29
(%)	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	93.5

今期設備投資を実施した企業は4社(12.9%)。前期(平成20年7~9期)の実施企業3社(9.7%)から1社増加。来期も2社(6.5%)が、OA機器、その他への設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、経営上の問題点として建設業が一位～三位にあげる項目は、

- 「民間需要の停滞」 (前期 50% → 今期 52%)
- 「材料価格の上昇」 (前期 53% → 今期 48%)
- 「官公需要の停滞」 (前期 43% → 今期 38%)
- 「請負単価の低下、上昇難」 (前期 30% → 今期 31%)

となっている。

